

第3回 武雄市まち・ひと・しごと創生推進懇話会次第

日時：平成28年5月25日（水）

10：30～11：30

場所：3階会議室

<出席委員>

前田副市長、五十嵐（佐賀大学）、片淵（佐賀県庁、大草委員代理出席）、松田（代表区長）、梶川（武雄商工会議所）、山口（佐賀県農協）、江越（眉山の森保全の会）、横尾（佐賀新聞）、藤田（ハローワーク武雄）、真谷（武雄金融協会）、土井（商工会）、江口（観光協会）、太田（連合佐賀）、中村（市民団体）

※欠席：梶川（商工会議所）、井手口（青年会議所）、西田（女性ネットワーク）

<事務局>

企画課（古賀課長、朝長係長、富永）、安全安心課（末藤課長、山北係長）、お住もう課（平山）
地域経済課（弦巻課長）、農林課（古賀係長）、観光課（古田係長）、福祉課（山口課長）、
教育政策課（山田課長）、スマイル学習課（諸岡課長）、文化課（一ノ瀬）

1 開会

【古賀】 本日の懇話会の意見を踏まえ、国に武雄市の取り組みを報告する。

【前田】 昨年度、国の交付金を活用して事業を活用した。さまざまな意見を頂戴したい。

2 議題

- （1）地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業について
（事務局から昨年度実施事業の概要説明）

【五十嵐】 新規事業と継続事業発展型の区分けの説明をお願いしたい。

【中村】 スター戦略は5か年となっているが、今回の事業は単年度なのか。

【横尾】 12の事業のうち、単発で終わらせるのはもったいない。例えば、「①武雄市まちなみ創造事業」の観光客誘致を継続してこと効果がでる。「②トロピカルフルーツ等新規作物産地化推進事業」販路開拓が重要。「⑩伝統野菜の再認識・活性化事業」の伝統野菜（しょうが）はブランド化して単発に終わらせず、継続を。

【太田】 地方創生の交付金の制度説明を。単年度事業や今後の交付金のフレームなど。今後の地

方創生の予定を教えてください。

【五十嵐】「①まちなみ創造事業」の KPI 創業件数 5 に対し、実績 3。3 の内訳は。観光客のうち、宿泊者数という観点からの地域経済への効果。例えば事業効果を判断する値がないのではないか。単に KPI の数値だけで評価するのではなく、それで表現できない効果についても、文章で記すなど、効果が見える分析が必要ではないか。

【地域経済課（弦巻）】 実績 3 の内訳は、飲食 1 件、美容室 1 件、マッサージ 1 件。

【観光課（古田）】 ご指摘の事項を KPI に付記したい。

【江口】 27 年度事業をバージョンアップさせ、継続させることが制度上可能なのか、28 年度の国の地方創生の制度について説明を聞きたい。

【片渕】（地方創生先行型、加速化交付金、新型交付金について事務説明）

【江口】 せっかく取り組んだ事業であり、今後も見守りと確認が重要。使いにくい交付金とのことだががんばって取り組んでもらいたい。

【五十嵐】 交付金はやがてなくなっていく。事業を担う人材の育成が重要。各事業にどのような人が関わったのか。受け皿となっている市民がどのような課題をもっていて、どんな支援（お金以外を含めて）ができるのか検証が必要。

【地域経済課（弦巻）】 「①まちなみ創造事業」は将来的に、民に移すことを念頭に、ワークショップ等の活動を含めて人材の検討をしている。

【五十嵐】「③ICT 教育推進員配置事業」は交付金を活用して、所得を払っているのか。委託なのか。

【スマイル学習課（諸岡）】 委託事業である。

【五十嵐】「⑦楼門 100 周年記念「武雄のあかり展」地域資源・アートを活用した観光客誘致事業」、
「⑧武雄版ウォーキングコースの設置 地域資源を活用したまちあるき事業」の実施主体は。

【観光課（古田）】 ⑦は観光協会、⑧は観光課。

【横尾】 人材の育成。武雄は行政主導のまち。県西部でも民間主導は少ない。民間主導が根付くのか。市長は地元の自発的な取り組みをと考えているようだが、上手にやらないとしりきれとんぼになる可能性がある、しっかりやっていただきたい。

【松田】 横尾委員に異を唱えるわけではないが、「⑩伝統野菜の再認識・活性化事業」は、市から働きかけがあって、地区から手を挙げた。

空き家対策の調査のやり方、必要とする空き家なのか防犯のための空き家なのかわからない。

【安全安心課（山北）】 危険な空き家は「安全安心課」、活用できる空き家は「お住もう課」など市役所内でも所管が異なり、わかりにくい点がある。今回の調査では、空き家調査の結果をランク付けを行い、活用できる空き家～倒壊危険の空き家までの区分けを行った。今後は、その情報をもとに、活用するか、防犯措置をするかを判断する。

(2) 平成 28 年度武雄市の取組について

(事務局より説明)

- ①平成 28 年 4 月 1 日付組織改編
- ②新幹線リレー方式が決定、それにもとづくまちづくり
- ③ 28 年度大型事業（競輪場改修、新庁舎、こども図書館）

【横尾】 移住の 27 世帯の内訳は？教育移住が主か？

【お住もう課（平山）】 一般移住が多い。

【中村】 シティプロモーション室の役割は？

【企画課（朝長）】 武雄市のブランド全体として、一元化して取り組みたい。ご指摘のとおり市民の情報発信部分を利活用していきたい。

【横尾】 こども図書館の運営は？

【前田】 これからの検討である。

(3) その他

【太田】 地方創生の交付金の内容と、一般の交付金の内容との違いは？全体的に武雄市としての交付金の概要を知りたい。

本日、生活困窮者支援の窓口を見たが、あの案内表示では相談しにくい。改善をお願いしたい。

【江口】 武雄市は行政主導のまちと言われていたが、実際、財源（交付金）をとることができるのは行政だけしかない。市民はやりたくてもお金がないという問題がある。早い段階で市民の要望を聞きながら、製作過程の段階から市民、事業者との交流を図っていただきたい。

【松田】 市役所の移転後の活用策を教えてください。

【企画課（朝長）】 現状、決まっていない。

【江越】 ウェルカム武雄ハウスの今後の予定があるのか？

【お住もう課（平山）】 地元区長と相談をしながら進めたい。計画は今後も予定している。

【五十嵐】 懇話会の位置づけを確認したい。PDCA の Check を毎年この懇話会で行うのか。

【古賀】 毎年行いたい。

【五十嵐】 他市の懇話会の委員も引き受けているが、総合戦略を策定して終了という自治体ばかりのなかで、懇話会で Check 機能を図ろうとするのはすばらしい。